私とキリスト教

2017年8月7日

平松 信義

　キリスト教に私が興味を持ったきっかけは何か、キリスト教から何を学びたいか、なぜ YMCA寮に入寮を希望するかについて書きます。

　僕の尊敬している両親が信仰を持っていたことが、私がキリスト教に 関心を持った主なきっかけです 。僕の両親はそれぞれ成人してからクリスチャンになり洗礼を受けました。両親は僕の名前(信義)を、聖書の言葉「義人は信仰によって生きる」(ローマ人への手紙1章17節)を参考にしてつけたそうです。両親は僕にキリスト教の信仰を強制しませんでしたが、 両親の信仰は僕がキリスト教に関心を 持つ 動機になりました。また 僕が小学生くらいのころ両親は僕と兄弟をよく聖書集会に連れていってくれました。この集会は互いに聖書の一部を読みあって賛美歌を歌い、その後簡単なお昼ごはんを一緒に食べるというもので、牧師もおらずお互いに平等で形式じみたところがありませんでした。また集会を運営するための最小限の必要経費も匿名での寄付で賄われており、運営はクリーンかつ良心的だったと思っています。その集会で子供が集会に参加するととても可愛がってもらい、聖書の絵本を読んだり他の子供とおもちゃを作ったのが子供時代の楽しい思い出として 残っています。その集会で知り合ったクリスチャンからも僕は影響を受けたように思います。 特に印象に残っているのは、中学生のときに 泊まり込みの行事に参加して、ある20代の男性の方と夜通し聖書について議論したときのことです。その方は偶然東大の卒業生でした。僕はその夜背伸びして、 僕の同級生とは全く話さないような哲学的な質問を数多く男性に投げかけましたが、彼は面白がりながら丁寧に議論をしてくれました。僕も一人前に扱ってもらえたような気がして嬉しかったです。 僕が彼を含め集会に通っている人々に抱いた印象は、彼らの多くは心が安定していて他人への思いやりがあり、社会的に成功しているというものでした。もしキリスト教の信仰により人間として成長できるならとても素晴らしいことだと思いましたし、彼らとの交流を通じても聖書にはどういったことが書かれているのか素朴に興味を持つようになりました。

　僕はキリスト教を勉強することで僕の信念が洗練されてより強固なものとなり、僕の人生がより豊かで楽しいものになるのではないかとの希望を持っています。 ここである数学者が彼の 経験から考えた、 僕の印象に残っている言葉を引用します。多くの人間にとって主義や主張をもつことは幸福のみなもとであると、ラッセルは『幸福論』の中で主張しました。(B. Russel著『The Conquest of Happiness』の第二部十章より抜粋。原文は ”Belief in a cause is a source of happiness to large numbers of people.” ) 彼は青年時代にキリスト教の信仰を捨てたそうですが、信仰のあるなしに関わらず主義を持つことによって幸福の度合いが増すと 考えているようです。彼はさらに、一般に科学者で幸せそうな人が多いのは科学が彼らの信条になっているからだと述べました。彼の考えを妥当とするなら、キリスト教を学んで自分の考えを深めることができれば僕の人生は豊かにできるかもしれません。具体的にはキリスト教の教えから特に、明るく過ごすための心の持ちようと、自分と違う人間に優しく接する方法について学んで自分のものとしたいと思っています。 ところで、僕が数学と物理学を勉強して達成したい目標も自分の人生を楽しく・豊かにすることです。そのためには数学と物理学を深く理解することが必要ですが、そのためには人間が想像できない科学の適用範囲を超えた領域に関しても洞察する必要があると僕は思います。僕にはキリストのように人格を持った神が科学の適用範囲の外にいるのかどうかは分かりません。しかしキリスト教を学ぶことが理解の一助になるのではないかと期待しています。また僕の経験では、もちろん例外もありますが、 クリスチャンは思いやりのできる人間は多いようです。他のクリスチャンの方から学べることは学び、精神性を高めることができれば嬉しく思います 。

　東大YMCA寮に入寮を希望する理由は、 キリスト教について同年代の学生とともに学べるからです。朝の礼拝や木曜日の集会で継続的に、キリスト教を学び続けることができます。聖書に書いてある内容が膨大で一人では全て分からなくとも、複数で協力した取り組めばより深い理解に至ることができるでしょう。YMCA寮 の尊敬できる学生から日常生活で刺激を受けられることも魅力 です。専攻や学年の違う学生とのつながりができることで考える物ごとの幅が大きく広がることも期待したいと思います。各界で活躍されている寮の卒業生の方々と年に数回お話する機会があるというのも楽しみにしています。学習環境も整っており、特に本郷キャンパスに近く食事も出ることから、通勤や自炊などで分散しがちな僕の集中力を成長に有意義なことに向けることができるのではないかと思っています。また 図書館には 興味深い本が数多くあり、時間を見つけて読みたいと思っています。一人暮らしをしていると乱れてしまいがちな生活習慣も朝決まった時間に起きることで規則正しくなると思います。 学生生活を充実した 楽しいものとして、人間的に成長するために東大YMCA寮は理想的な環境ではないかと僕は期待しています。